



2024年5月14日

各位

会社名 ポパール興業株式会社
代表者名 代表取締役社長 松井 孝敏
(コード番号: 4247 東証スタンダード・名証メイン)
問合せ先 常務取締役 鈴木 哲彦
(TEL 052-419-1827)

中期経営計画策定に関するお知らせ

当社は、2025年3月期から2027年3月期までの3年間を対象とする中期経営計画を策定いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 業績の現況

2024年3月期は、過去最高の売上高3,589百万円(前年同期比0.7%増)を計上するも、営業利益は317百万円(前年同期比13.7%減)に止まりました。これは主に、特殊設計機械および次世代半導体用の研磨パッドの売上が伸長した一方で、次世代の成長に向けた基盤整備として、新工場棟の建替えや製造DXの導入に約8億円を投じ、更に当初予定から6か月前倒しで実施したことが収益の負担となったためです。

2. 中期の計画

2025年3月期は、ディスプレイ用の研磨部材において、得意先の在庫調整が続くことにより減収を見込んでおります。他方、次世代の成長に向けた基盤整備につきましては、堅固な財務体質を活かし開発投資、IT投資、人的資本投資を中心に、更に積極的に推進する計画であります。

2026年3月期以降は、研磨部材の回復および研磨パッドの拡大が寄与して増収基調を回復すると伴に、実施済みの工場投資やDX投資の成果によって収益を挽回し、2027年3月期には営業利益を2023年3月期レベルに戻す計画であります。

	2023年3月期 実績	2024年3月期 実績	2025年3月期 計画	2026年3月期 計画	2027年3月期 計画
売上高	3,566百万円	3,589百万円	3,470百万円	3,610百万円	3,800百万円
営業利益	368百万円	317百万円	260百万円	340百万円	390百万円
営業利益率	10.3%	8.9%	7.5%	9.4%	10.3%
ROE	4.7%	3.3%	2.4%	3.7%	4.2%

※上記数値目標は、毎年成果及び課題の検証を実施し更新いたします。

2. 基本方針

当社は2027年に創業70年を迎えるにあたり、「常に新しいサムシングを求め、現場視点でものづくりを発想し、チャレンジし続けることで進化していきます」とする基本理念に立ち返ると共に、次世代に向かって新たな挑戦を始めてまいります。

3. 主要課題

① 次世代の成長に向けた基盤整備の継続

堅固な財務体質を活かし、開発投資・IT投資・人的資本投資等を積極的に推進します。

② 中核事業の競争優位の確立

2024年12月竣工の工場棟建替えを機に、ロールストッカー（自動入出庫装置）、AGV（無人搬送機）等の導入によって生産工程の改革、作業効率の向上を実現します。また、当社の強みであるカスタマイズ力を発揮し、新たなニッチトップの創出を目指します。

③ 新規分野の開拓と海外展開の加速

成長分野である半導体業界向けの研磨パッドの拡販、環境に配慮したサステナブル製品の開発、および、アジア域内での最適な生産・供給体制の整備を加速します。

④ 資本コストや株価を意識した経営

下記の株主還元の方針に沿って推進します。

4. 株主還元の方針

当社は、株主に対する利益還元を経営の重要課題と認識しており、配当につきましては、連結配当性向30%を基本に、安定的な増配の継続を目標としております。内部留保につきましては、今後予想される経営環境の変化に対応すべく、お客様ニーズに応える開発・生産体制の強化、グローバルな事業戦略の遂行および事業領域の拡大に役立ててまいります。

このような方針のもと、当期の年間配当金につきましては1株につき37.0円、次期の年間配当金につきましては8年連続の増配となる38.0円を予定しております。上記の配当政策に加え、自己株式の取得や株主優待制度の維持・拡充等も検討しながら、今後も利益成長と資本効率の両面を追求してまいります。

※ 本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する主旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上



総合接着・樹脂加工

ポパール興業株式会社

私たちはソリューション・ビジネスを推進します

東証スタンダード・名証メイン | 4247

2025年3月期～2027年3月期

中期経営計画

(抜粋版)

2024年5月14日

1. 前中期経営計画の振り返り ①

中期目標 ('24年3月期)に対して

売上高：**過去最高 3,589百万円を計上するも、目標未達**
(機械事業の売上拡大、半導体用研磨パッドの伸長が寄与)

利益額：**基盤整備のための先行投資の影響等で 目標未達**
(新工場棟や製造DXへの投資と研磨部材の売上減少で減益)

単位：百万円

指標	2021/3期 実績	2022/3期 実績	2023/3期 実績	2024/3期 実績	2024/3期 中期目標
売上高	3,252	3,475	3,566	3,589	3,623
接着樹脂加工事業 売上高	2,678	2,918	2,950	2,924	3,044
特殊設計機械事業 売上高	573	556	615	664	579
経常利益 率	349 10.7%	380 10.9%	383 10.7%	345 9.6%	410 11.3%
ROE	4.2%	5.3%	4.7%	3.3%	5.0%

1. 前中期経営計画の振り返り ②

実施事項（成果）

今後の課題

ソリューション
ビジネスの推進

・製品情報HPリニューアル

・顧客の現場視点による
ソリューション力の再興

グローバル展開

・中国で新工場への移転完了
（'22年8月完）

・海外事業展開の加速

成長事業・
新規事業推進

・機械事業の売上拡大、販路開拓
・半導体研磨パットの売上開始

・開発案件の絞り込みと
リソースの重点投入

生産の合理化

・新工場棟の建替え
（'24年12月予定 従来の1.6倍）

・カスタマイズ品の
ものづくり変革

共感力の浸透

・管理職研修の実施
・職場の相互対話 仕組み化

・人的資本への投資拡充

サステナビリティ
への取り組み

・ガバナンス体制の整備
（委員会、リスク管理の強化）

・環境/社会課題への対応

2. 中期経営計画の考え方

(2025年3月期～2027年3月期)

基本方針

当社は、2027年に創業70年を迎えるにあたり、「常に新しいサムシングを求め、現場視点でものづくりを発想し、チャレンジし続けることで進化していきます」とする経営理念に立ち返り、次世代に向かって新たな挑戦を始めまいります。そして、これからも常に現場の視点に立ち、職人集団としてのプライドをもって、目立たない所で”モノづくり”を支え続けます。

基本戦略

“ 将来投資、利益成長、資本効率 ” の統合的な成長ストーリー

3. 中期経営計画目標

2025年3月期を底に その後は

売上高：ディスプレイ用研磨部材で客先の在庫調整 終了、半導体用研磨パッドの販路拡大 等により '27年3月期は3,800百万円 ('24年3月比 +5.8%)

利益額：将来への基盤投資 (開発投資・IT投資、人的資本投資)を継続推進しつつ、実施済みの投資効果(工程改善やDX導入)を回収し'23年3月期水準へ回復

単位：百万円

指標	2023/3期 実績	2024/3期 実績	2025/3期 目標	2026/3期 目標	2027/3期 目標
売上高	3,566	3,589	3,470	3,610	3,800
接着樹脂加工事業 売上高 (内、半導体研磨パッド)	2,950 (0)	2,924 (43)	2,870 (70)	3,010 (120)	3,200 (150)
特殊設計機械事業 売上高	615	664	600	600	600
営業利益 売上比率	368 10.3%	317 8.9%	260 7.5%	340 9.4%	390 10.3%
ROE	4.7%	3.3%	2.4%	3.8%	4.2%

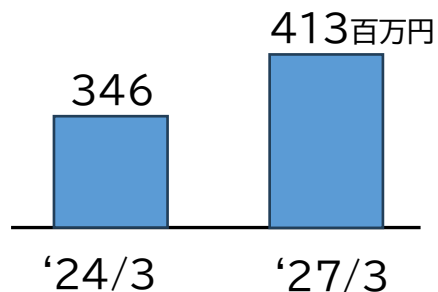
3. 中期経営計画目標（前頁以外）

最終年度（'27年3月期）目標

財務目標

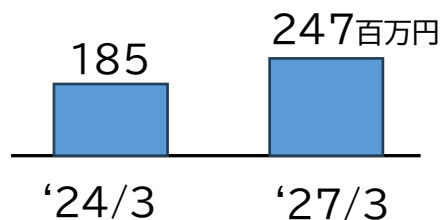
経常利益

4.1億円



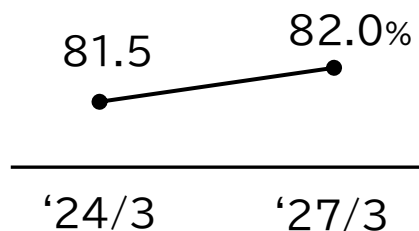
親株主に帰属する
当期純利益

2.4億円



自己資本比率

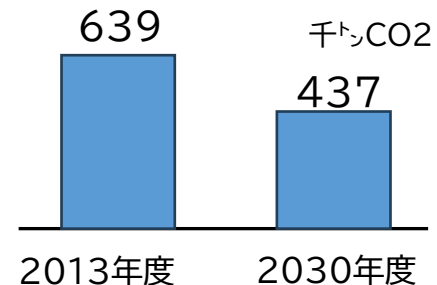
82.0%



非財務目標

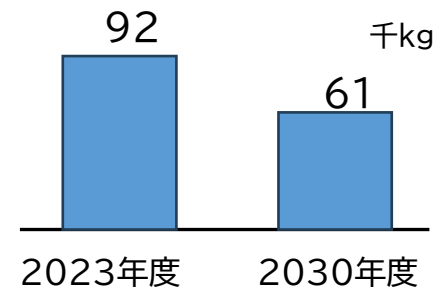
CO2排出量

▲32%



廃棄物重量

▲30%



有給取得日数

15日/人・年

残業時間

原則ゼロ

4. 中期経営計画 実施事項

今後の課題

主な重点実施事項

ソリューション
ビジネスの推進

- ・顧客の現場視点によるソリューション力の再興

- ・顧客ニーズの深耕とニッチ分野の発掘
- ・粗利額重視の営業戦略への転換

グローバル展開

- ・海外事業展開の加速

- ・アジア域内で最適 生産・供給体制構築
中国へ研磨部材、研磨パッド、紡績関連品 集約
タイは 労務費メリットを生かした主力輸出拠点

成長事業・
新規事業推進

- ・開発案件の絞り込みとリソースの重点投入

- ・次世代ウエハ用 研磨パッドの改良拡販
- ・脱VOC(水系接着剤 等)の実用化 他

生産の合理化

- ・カスタマイズ品のものづくり変革

- ・生産効率、物流効率、作業効率の向上
標準化、平準化、ロールストッカー(自動入出庫装置)、AGV(無人搬送機)の導入等

共感力の浸透

- ・人的資本への投資拡充

- ・採用、育成、福利厚生^の整備・強化
- ・健康経営の推進 (心身の健康増進、職場力向上)

サステナビリティ
への取り組み

- ・環境/社会課題への対応

- ・サステナブル経営の実践
CO2排出量削減、VOC排出量削減、廃棄物縮減
サステナブルベルト製品化(脱炭素素材+脱VOC接着剤)

5. 株主還元方針

株主に対する利益還元は経営の重点課題と認識しております

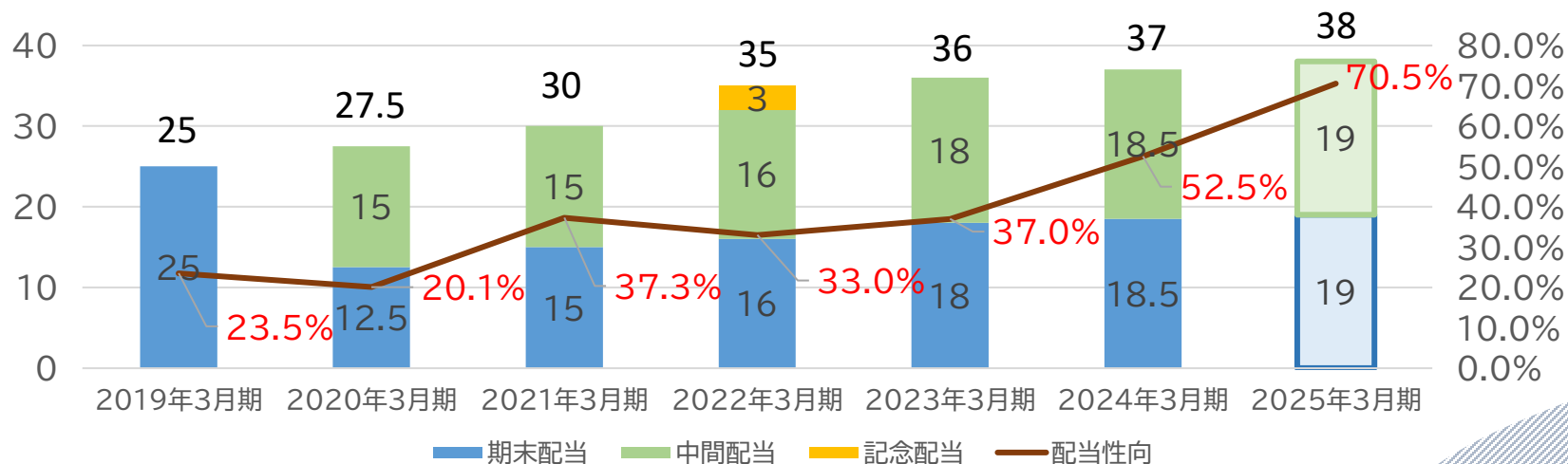
還元方針

配当政策につきましては、連結配当性向 30%を基本に、安定的な**増配の継続**を目標とします。加えて、**自己株式の取得**、**株主優待制度の維持拡充**も検討しつつ今後も利益成長と資本効率の両面を追求してまいります

内部留保

今後予想される経営環境の変化に対応すべく、お客様のニーズに応える開発・生産体制の強化、グローバルな事業戦略の遂行、事業領域の拡大に役立ててまいります

一株当たり配当金の推移



免責事項

・本資料は、株主・投資家などの皆さまに当社の経営情報、財務状況等の情報をご理解いただくことを目的としており、当社の株式の購入、売却など、投資を勧誘するものではありません。投資を行う際は、ご自身のご判断で行うようお願いいたします。また内容についていかなる表明・保証を行うものでもありません。

・本資料に掲載している情報のうち過去の事実を除き、現在入手可能な情報を踏まえた当社経営者の判断に基づくものです。従って、実際の業績は、種々の要素の変化により大きく異なる結果になりうることにご注意ください。

以上のことをご理解いただき、投資に関する決定をされる場合には、当社が発行する有価証券報告書などの資料をご覧くださいなどとして、ご自身の判断で行われるようお願い致します。

- ・ I R についてのお問い合わせ先
ポータル興業株式会社 管理部 経営企画課
電話番号：052-411-1050
U R L : <https://www.poval.co.jp/>